

事業所名

おひさま高島事業所(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

7 年

2 月

1 日

法人(事業所)理念		『すべての子どもたちのために、今できることをかたちにする』								
支援方針		こどもが安心できる環境をつくり、信頼関係を大切に築きます。 興味関心や、好きなことを引き出し、成功体験の中から、得意を伸ばす支援をしています。 その児童に必要なことが身につくよう、児童にあった支援を実践し、地域での暮らしにつなげていきます。								
営業時間		10 時	00 分	から	16 時	00 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身辺自立に向け、日常生活動作(着脱、排泄、食事等)の習得に向け支援します。 ・児童の変化に気づき、規則正しい生活リズムについて指導します。 ・困ったことがあったときに、周囲に伝えることができるように、場面の経験を通して練習します。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士の職員が中心となり、児童の好きな遊びを通して、感覚統合に向けて支援します。 ・身体を動かす楽しさを経験しながら、適切な姿勢や身体の動かし方が身につくよう練習をします。 ・日常生活の中で取り入れることのできる練習をみつけ、繰り返し取り組みができるように支援します。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しの経験の中で、ルールを知り、場面にあった行動ができるよう、児童の理解につなげていきます。 ・困ったことがあったときに、周囲に伝えることができるように、場面の経験を通して練習します。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・個別・集団活動や、外出体験を通して、知っていることば、児童の視野を広げ、相手に伝わることで得られる良い経験(好きなことができる/嫌なことが減る)を、増やしながらか、児童の理解につなげます。 ・児童の理解面、表出面に合わせた支援をします。 ・言語聴覚士と連携を図り、いま児童に必要な取り組みについて支援します。 ・困ったことがあったときに、周囲に伝えることができるように、児童のあった方法を探し、場面の経験を通して練習します。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で暮らす上で必要なマナーや、ルールを、経験を通して習得できるよう支援します。 ・困ったことがあったときに、周囲に伝えることができるように、場面の経験を通して練習します。 								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・職員に声をかけやすい雰囲気、関係をつくり、ご家庭の困りごとを共有できる環境をつくる。 ・送迎時や面談、連絡ノートによる情報の共有。 ・課題解決に向けた機会を設け、児童をとりまく環境、関係機関との連携を図る。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・就学に向け必要な準備や、児童にあったサポート ・園との情報共有 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会への定期的な参加 ・保育園、こども園や相談支援専門員との情報共有・課題等の共通理解(支援会議等) ・地域の職員研修への参加 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容、気付きや課題を職員間で共有し、解決に向けた話し合いを日々のミーティングでおこなう。 ・定期的に職員研修(支援プログラム・感染症対策・虐待防止・身体拘束等)をおこなう。 ・職員面談 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・各季節に応じたイベント(お花見・母の日・敬老の日・クリスマス会・節分など) ・外出行事(公園、工場見学・美術館・体育館等で運動・散策・プラネタリウムなど) ・避難訓練(地震・洪水・火災) 								

事業所名

おひさま高島事業所（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

7 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		『すべての子どもたちのために、今できることをかたちにする』											
支援方針		こどもが安心できる環境をつくり、信頼関係を大切に築きます。 興味関心や、好きなことを引き出し、成功体験の中から、得意を伸ばす支援をしています。 その児童に必要なことが身につくよう、児童にあった支援を実践し、地域での暮らしにつなげていきます。											
営業時間		平日	14	時	00	分から	17	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		学校休業日		10	時	00	分	00	分	まで			
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身辺自立に向け、日常生活動作（着脱、排泄、食事等）の習得に向け支援します。 ・児童の変化に気づき、規則正しい生活リズムについて指導します。 ・困ったことがあったときに、周囲に伝えることができるように、場面の経験を通して練習します。 											
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士の職員が中心となり、児童の好きな遊びを通して、感覚統合に向けて支援します。 ・身体を動かす楽しさを経験しながら、適切な姿勢や身体の動かし方が身につくよう練習をします。 ・日常生活の中で取り入れることのできる練習をみつけ、繰り返し取り組みができるように支援します。 											
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しの経験の中で、ルールを知り、場面にあった行動ができるよう、児童の理解につなげていきます。 ・困ったことがあったときに、周囲に伝えることができるように、場面の経験を通して練習します。 											
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・個別・集団活動や、外出体験を通して、知っていることば、児童の視野を広げ、相手に伝わることで得られる良い経験（好きなことができる/嫌なことが減る）を、増やしながらか、児童の理解につなげます。 ・児童の理解面、表出面に合わせた支援をします。 ・言語聴覚士と連携を図り、いま児童に必要な取り組みについて支援します。 ・困ったことがあったときに、周囲に伝えることができるように、児童のあった方法を探し、場面の経験を通して練習します。 											
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で暮らす上で必要なマナーや、ルールを、経験を通して習得できるよう支援します。 ・困ったことがあったときに、周囲に伝えることができるように、場面の経験を通して練習します。 											
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・職員に声をかけやすい雰囲気、関係をつくり、ご家庭の困りごとを共有できる環境をつくる。 ・送迎時や面談、連絡ノートによる情報の共有。 ・課題解決に向けた機会を設け、児童をとりまく環境、関係機関との連携を図る。 						移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・次のライフステージに向け、今できる準備、練習をする。 ・関係機関と連携を図る。 			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会への定期的な参加 ・学校、相談支援専門員との情報共有・課題等の共通理解（支援会議等） ・地域の職員研修への参加 						職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容、気付きや課題を職員間で共有し、解決に向けた話し合いを日々のミーティングでおこなう。 ・定期的に職員研修（支援プログラム・感染症対策・虐待防止・身体拘束等）をおこなう。 ・職員面談 			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・各季節に応じたイベント（お花見・母の日・敬老の日・クリスマス会・節分など） ・外出行事（工場見学・美術館・体育館等で運動・散策・プラネタリウムなど） ・避難訓練（地震・洪水・火災） 											